

聖マリアンナ医科大学(後期) 英語

2025年 3月 6日実施

[I]

[1] 人間の叫びに関する科学研究は、専ら痛みや恐れといった苦痛の音声化のみに焦点を合わせており、正の感情などによる他の種の叫びには注目してこなかったということ。

[2] d

[3] 研究者自身の叫びを録音し、叫びをもたらす典型的な感情の種類を特定しようと、そうした感情を引き起こす様々なシナリオを考案しその再現を試みたところ、痛み・怒り・恐怖・喜び・熱情・悲しみという6つの感情を評価することになった。(110字)

[4] 研究の参加者に痛みや恐怖を引き起こすことは倫理的に容認されない(ため、演技の悲鳴を使うか、YouTube上の動画にある悲鳴のような、既に録音されたものを拾ってくるしかない)から。

[5]

(a) a

(b) 警戒を呼び掛ける叫び以外のもの、特に喜びから来る叫びを識別するのが最も早く、嫌な感情による叫びの識別をするのは遅かったが、同様の結果が脳の活動でも見られた。(78字)

[別解] 聞き手は恐怖を伴わない叫び、特に喜びから来る叫びに最も速く反応したことから、叫びは周囲の人間に素早く危険を知らせる進化的機能であるという従来の説に異議が生じた。(80字)

[6] d

[7] c

[解説]

[1] the gap とあるため、「対比」項目を探せばよい。第2段落の1行目～3行目にある通り、研究の対象が正の感情 (happiness / joy / positive など) と負の感情 (agony, such as pain and fear / negative) で差異があるという旨を書けばよい。

[2] 下線部の分析だけで解答可能な問題。what 節内では makes us the same が make O C になっており「私たちを同じにするもの」が直訳である。その後ろの to understand は need to study を修飾する副詞句であり、「(人間と動物の)違いを理解するためには私たちを似たらしめるもの(=人間が持つ共通点)を調べる必要がある」という意味になる。よってこれに1番近い意味の d が正解。

[3] 設問文中の文言である、「研究協力者を募集する前」に注意。6行目の They recruited 12 volunteers から始まる箇所より、前を記述する。ゆえに、第4段落1行目～6行目までをまとめればよいのだが、字数設定上、if 節の具体例部分は省くことになる。

[4] 下線部の genuine vocalizations ⇔ acted screams (Youtube上の動画など)が分かれば、「実際に恐怖をもたらす」ことの困難さを記述すればいい。the difficulty ⇔ challenge の言い換えに気づけば、that it must be done 以降が答えだと分かる。つまり、第5段落2行目

～3 行目をまとめる。なお、解答欄の大きさが不明なため、() 内の要素を含めるかどうかは解答欄の大きさに依存する。

[5]

(a) 解答根拠は第 7 段落に登場する。第 7 段落 2 文目が d に対応し、3 文目後半が c に対応、そして 4 文目が b に対応する。another や also などの追加表現が意識できていれば解答はしやすいだろう。

(b) 実験結果をまとめるため、第 8 段落 1 行目～3 行目までをまとめればよい。ただし、「実験結果が示すこと」を説明せよ、という設問の指示が曖昧である。この「示す」を show の意味でとるのか、imply の意味でとるのかで解答作成の方向性が変わってくる。後者ならば、単に「実験の結果と考察を述べよ」という指示だけで足りる。ここではそうではなく、「その際、関連する結果にも言及すること」とわざわざ別個で指示が添えられていることから、作題者の意向を推測し、「メインの結果」および「関連するサブの結果 (= Similar patterns also held for fMRI analysis)」を併記する形とした。ただし、後者の解釈で解答を導いた場合は[別解]のようなスタイルになるはずで、いずれの方向性でも評点が与えられるべきと思料する。

[6] 正の感情にまつわる叫び声が警戒を呼びかける叫び声と誤認される、という文脈だが、それに対して would be beneficial to humans とある。人間にとってこの誤認がどのようなメリットがあるか考えれば「転ばぬ先の杖」という諺である d が正しいと分かる。たとえ誤認であっても、警戒にまつわる叫び声と認識しておく方が、いざという時に役に立つ、ということ。狼少年の逆バージョンのようなものである。

[7] 最終段落の内容に基づいて解答する。2 文目で「叫び声のニュアンスとそれが他者に伝える意味」と書かれており、叫び声の種類を分析することは人間言語の起源を辿ることにおいて重要であると分かる。したがって最終文の「人間のコミュニケーションの進化、どのように我々は話すようになったのかを理解する」ために必要なのは、「叫び声の種類とその役割」という意味の c だと分かる。

[II]

1. (a), (d) 2. [C] 3. (a) 4. (b) 5. (d) 6. (b)

[解説]

1.

(a) 実験において、鳥のひなは either road nose or zebra finch と述べられているように、「いずれか」の音を聞いたので、both 「両方」は不適切である。

(d) 孵化器の温度を 5 度上げたという記述は、本文に見られない。5 という数字が出てくるのは、for the last 5 days という記述であるが、これは孵化の期間の最後の 5 日間に音を聞かせたということであり、温度は無関係である。

2. 挿入文は「例えば」で始まり、「音楽のようにリズムのない音を絶えず聞くことが何らかの形でストレスを与える可能性がある」という内容であるから、直前に「音のどのような側面が有害なのかさらに実験を行って明らかにしたい」という Mariette 氏の発言が述べられているので、[C]に挿入するのが適する。

3. 正しいのは(a)「この研究において、大きな卵も小さな卵も同程度の孵化率であったがそれは通常の場合とは異なる」である。根拠となる英文は、第4段落第2文 **Larger eggs were no more likely to hatch than smaller eggs, a pattern that's opposite to what is normally the case** である。いわゆるクジラ構文の基本に立ち返ってみると、両者は大差ないということであり、選択肢のように同程度だといえる。また、それが **normally the case** 「通常の場合」とは **opposite** 「反対」であると述べられている。

4. (a), (c), (d)はいずれも第5段落第2文に記載がある。(b)は第5段落第3文の内容に矛盾。**half as many offspring as ...** とあることから、騒音に曝されて育った個体は子孫の数が減ったのである。

5. 本文では卵が孵化してから幼鳥の育つまでのフェーズで、騒音が多大な影響を与えうることを示している。この論旨に最も整合するのは、**pregnant mothers** 「妊娠した母親」と **babies** 「赤ちゃん」に言及した(d)である。

6. 第8段落第1文のパラフレーズが(b)である。本文中の“**how much**”と“**in what ways**” (**noise pollutions should be reduced**) が、それぞれ選択肢の“**appropriate levels**”と“**methods**” (**for noise reduction**) と対応している。

[Ⅲ]

I.

(A) (d) (B) (b) (C) (a) (D) (b)

II.

1. (1) (a) (2) (f) (3) (h) (4) (e)

2. (b)

3. (d)

[解説]

1.

(A) 帰りに電池を買ってきて欲しいという、兄(弟)からの電話に対して、友人と食事をしているので、すぐには帰れないという空所の前の会話を考慮し、兄(弟)の電話を切る際の発言として、(d)「それならいいや」を入れると文意に合う。

(B) 兄(弟)からの電話のことをすっかり忘れて帰宅し、自室でエアコンのスイッチを入れようとしたところ、リモコンが動かなかったという状況を考慮し、リビングルームにいる兄(弟)のところに行き、叫んだ言葉として、(b)「エアコンの電池を返して!」を入れると文意

に合う。

2.

(C) 空所の直後に、「あなたが私にくれるすべての物を本当に気に入っている」とあることから、お土産をくれたキヨに対して、(a)「あなたはお土産を選ぶセンスがいつもいいわね」を選ぶと文意に合う。

(D) 最後に、『「じゃあ、きっと私たちの好みは同じかもね』と言って私たちは笑った」とあることから、空所には、(b)「私は同じ物を自分にも買ったの」を入れると文意に合う。

II.

1.

(1) 「印のついた通路にいてください」と題名のついたセクションであることと、空所の前に、「自然の景観を尊重し」とあることから、(a)「常に指定された通路にいてください」と入れると文意に合う。

(2) 空所の前に、「ここにある多くの植物種は珍しい」とあることから、(f)「生態系を維持するのに重要な役割を果たしている」を入れると文意に合う。さらに、続く文には「少しのものでも取り除くことによって、環境に永続的な影響を与え、当地の生物多様性を乱す可能性がある」ことも踏まえて解答する。

(3) 空所を含む文は、「火はすぐに広まる可能性があり、自然の生息地（ ），植物や動物や訪問者を危険にさらす」という意味。したがって、空所の直後の名詞 the natural habitat につながる選択肢を選ぶ。(h)「深刻な害を～に対して引き起こす」を入れると文意に合う。

(4) 空所を含む文は、「人間の食べ物は野生生物にとって適するものではなく、（ ），危険な遭遇につながる」という意味。したがって、(e)「彼ら(野生生物)が訪問者に依存するようになるかもしれない」を入れると文意に合う。

2. ポスター全体の趣旨を理解して、題名を入れる問題。訪問者が美しい環境を守るための諸注意が述べられている。したがって、(b)「大きな影響への単純な規則」が文意に合う。

3. この段落全体では、植物に触れてはいけないことが述べられている。したがって、(d)「植物を摘み取らないでください」を入れると文意に合う。

【総評】

例年通りの3題構成で、長文2本（記述式+客観式）の分量および難易度も平年並み。特に大問2の長文は大問1に比べて平易であり、失点を避けたい。大問3では前半が会話文問題、後半が前期と同様の短いパッセージ中の空所を文脈に合うよう補う読解問題に変更された。概ね前期と同等の難易度と判断し、一次通過ラインは75%程度か。

本解答速報の内容に関するお問合せは



医学部専門予備校
YMS

03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校

メビオ

0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校

英進館メビオ 福岡校

0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録



LINE 登録

